

## 鳥取県内の生涯学習情報が満載！



ページ  
1 特集

### キラリと光る公民館活動

岩美町立浦富地区公民館、鳥取市立日置地区公民館

- 4 とっとり県民カレッジ連携  
生涯学習講座情報（11・12月）
- 22 防災活動・防災学習のススメ  
鳥取県危機管理局消防防災課
- 23 はじめよう！環境学習  
鳥取県地球温暖化防止活動推進センター
- 24 私たちの活動をご紹介します！  
とんがり倶楽部バンド（三朝町）
- 25 鳥取県立生涯学習センター（お知らせ）
- 27 とっとり県民学習ネットをご活用ください！



『切り絵シリーズ』 雲龍寺（鹿野町）

雲龍寺では、毎年紅葉に染まる庭を一般公開しています。今年は11月23日から。

絵・文：紙原 四郎 氏

# キラリと光る公民館活動

毎年、特に事業内容や方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められる公民館を優良公民館として文部科学大臣が表彰しています。平成 29 年度、鳥取県では、岩美町立浦富地区公民館と鳥取市立日置地区公民館が第 70 回優良公民館表彰を受賞。2 館の館長に取組についてお話を伺いました。

## 岩美町立浦富地区公民館



ロードにはユニークな案山子も登場！岩美町のゆるキャラ「いわみんとがんじい」や「ウ山陰ボルト」、「瑞風」

地域の花いっぱい運動に取り組み、平成 10 年に鳥取県景観賞（県知事表彰）を受賞したことをきっかけに、地域内を流れる吉田川沿いの土手の美化活動をコスモスロード事業としてスタート。今年で 18 年目となり、住民が一体となって取り組めたこと、地元小学校と連携することにより世代間交流が図られていること、各自治会の取組が活発になったことなど、地区の活性化に大いに寄与しています。

## 鳥取市立日置地区公民館



わしの子教室の様子：「わしの子習字」、「わしの子農園」、「わしの子楽団」、「世代間交流事業（和麻づくり）」、「はねそを習おう」

地域みんなで子どもたちを育てる「わしの子教室」。この取組により、子どもが地域の大人に学ぶシステムが構築されています。そして、地区住民に子どもたちをみんなで見守り育てていこうという機運が醸成されつつあります。この活動をとおして、子どもたちが地域を好きになるきっかけになるとともに、関わった大人の生きがいにもつながっています。

# 住民に愛され続けるコスモスロード 岩美町立浦富地区公民館



## 「花いっぱい運動」から誕生

岩美町浦富地区は、人口3,650名。平成22年に世界ジオパークネットワークへ加盟認定された「山陰海岸ジオパーク」の一角にあります。平成9年に、住民で公民館の花壇やプランターに花苗を植え、「花いっぱい運動」をスタート。その後、他の公共施設や沿道にも活動を広げていきました。このことが評価され、平成10年に鳥取県景観賞（景観づくり住民活動部門）を受賞。これをきっかけに「もっといろいろなところに花を植えたい！」という住民の声が高まり、平成12年7月、町道トリムコース沿いの約1キロメートルにコスモスの種を播きました。秋にコスモスが美しく咲き誇ることを願い、250名もの住民が作業に参加。平成16年には、吉田川沿いの土手に活動場所を移し、900メートルを4自治会で区分けして共同管理をしています。平成17年度からは、県のボランティア奨励金制度を活用し活動を継続中です。

## 美しく咲かせるためには、苦労も・・・

5月下旬から6月下旬にかけてロードの草刈と耕耘をし、7月初旬に種まきをします。岩美北小学校3年生と一緒に種まきは、今年で6年目になりました。地域住民との交流が図られ、子どもたちが環境美化の意識を持ち続けることにもつながっています。8月には除草や水やり、台風対策のための杭打ちとロープ張りなどの管理が必要です。11月初旬に種採りをし、ようやく半年以上の作業が終わりを迎えます。発芽障害や発育障害にあう年もあり苦労がつきませんが、コスモスがきれいに咲いた時は、達成感があります。住民にとってロードはともに汗を流し、喜びを分かち合う大切な場所となっています。

## ロードにユニークな案山子が登場！！

8年前から、公民館の生涯学習推進員、岩美中学生の有志、地区の婦人会や自治会などの協力を得ながら、案山子づくりに取り組んでいます。手作りの案山子がロードにお目見えし、観光客の目を楽しませています。マスメディアにも取り上げられ、町内外から観光客がたくさん訪れるようになりました。また、ロードのところどころには手作りベンチも置かれ、コスモスをゆっくりと観賞できるように工夫されています。

## コスモス観賞ウォーキングを開催

10月には、公民館事業として「コスモスのつどい」を開催。コスモスを観賞しながら住民がウォーキングを楽しみます。また、平成23年に地域の活性化を願い結成された「浦富歳とし



公民館職員と生涯学習推進員の皆さん  
後列右が館長の出口武志さん、前列左から2番目が主事の西原理恵さん

の市実行委員会いち」\*のメンバーが仮装をしてロードをねり歩き、にぎわいづくりに一役かっています。館内では、種まきに参加した岩美北小学校3年生によるコスモスの絵の作品展もあり、ロードを通じて地域が一つになります。コスモスの他にも、2月から3月にかけてはスイセン、6月には対岸にアジサイ、9月下旬にはヒガンバナが咲き誇り、年間をとおして美しい花を観賞できます。

## 公民館は活動をサポート

コスモスロード事業は、今年の夏で18年目を迎えました。ここまで活動が継続できたのは、活動に必要なノウハウを有した方を中心として、婦人会や自治会などの協力も得ながら、地域住民が一体となって取り組んでいるからです。公民館は、その活動を全力でサポートしています。

今後もこの活動が長く継続できるように、地域の人材発掘に努めるとともに、住民のだれもが気軽に集い、交流できる公民館となるよう、雰囲気づくりに一層努めていきたいと考えています。

\*浦富歳の市実行委員会

かつて正月の準備品などを販売していた「浦富歳の市」。伝統文化を守り、地域を活性化しようと住民により「浦富歳の市実行委員会」が結成され、毎年12月23日に浦富地区公民館で「浦富歳の市」を開催。

### まだまだあります！公民館事業

- なごみ園づくり  
食育の一環として子どもたちと一緒に畑づくり
- 文化交流活動  
百人一首交流会や浴衣の着付け教室など
- 健康・スポーツ活動  
健康講座やバウンスボール大会、グランドゴルフ大会など

### 岩美町立浦富地区公民館

岩美郡岩美町大字浦富 1907-1  
TEL & FAX (0857) 72-8080

# 日置の子どもたちを大人みんなで育てる 「わしの子教室」

## 鳥取市立日置地区公民館



### 過疎化と少子化が急激に進展

鳥取市青谷町が、平成16年に鳥取市に合併したころの青谷町日置地区の人口は1,360名。内、児童は55名でした。現在は人口970名、児童は25名となり、過疎化と少子化が急激に進んでいます。

平成12年に保育所が閉園。また、平成19年に小学校が閉校し、地区内の公的施設は公民館だけになってしまいました。このため、公民館への住民の期待や関心はとても高く、住民同士の結びつきも強い地域です。

### 「わし」と「和紙」にちなんでネーミング

子どもたちがこの地に生まれ育ったことに誇りを持ち、故郷を大事にする大人になることを願い、地域の大人が知恵を出し合いながら、日置の子どもたちをみんなで育てていこうと、平成19年から「わしの子教室」事業をスタートしました。

事業名は、自分のことを「わし」と呼ぶ方言と、特産である「因州和紙」にちなみ、自分の家の子もほかの家の子も「地域の子」として隔てなくとの思いでネーミング。土日開催や、隣の日置谷地区公民館と合同開催することにより、より多くの子どもたちが交流できるように工夫しています。

### 主に次の3つの事業を行います

#### ①旧鳥取市立日置小学校を活用した事業

旧小学校の楽器を利用して楽団を編成し、敬老会などで発表演奏をする「わしの子楽団」や、元小学校の校長先生がボランティアで指導する「わしの子習字」のほか、旧小学校の畑を利用して野菜や花などを栽培し、収穫や食事会などを楽しむ「わしの子農園」があります。

#### ②親子で楽しむ事業

夏休みに親子で一緒に楽しむ「ひおきサマーキッズ」は、企画・運営・片づけまで各集落の保護者でつくる公民館育成部が主体となって行います。マスのつかみどり、バーベキュー、かまど炊き、スイカ割りなどを親子で楽しめます。また、「世代間交流事業」は、老人クラブの全面的な協力のもと、毎年趣向をこらした企画で地域の人たちと絆を深め合います。

#### ③伝統を継承する事業

地元で昔から行われている行事や昔から作られている料理などを、みんなで楽しみながら行ったり味わったりします。6月は「ちまきづくり」、8月は地区伝統の盆踊り「はねそを習おう」、9月は「お月見会」、12月は公民館の「年末大掃除」、1月は「新年餅つき」を行っています。また、年間をとおして、「和紙の体験」にも取り組み、楮の刈り取りや紙すき、和紙細工などに挑戦しています。



公民館職員のみなさん  
左から主事の前田美智子さん、主任の塩とみ子さん、館長の前田靖憲さん、主事の伊藤佐知子さん

### わしの子教室の成果

事業を始めて今年で11年となり、地域全体で子どもたちを育てようという機運が醸成されつつあり、世代間交流も進んでいます。子どもたちにとって、特に次のような成果がありました。

- ・地域の人たちに子どもたちの元気な姿を見てもらえ、子どもたちにとっても地域の方と顔見知りになる機会となりました。
- ・子ども同士が学年や性別を超えて交流でき、仲良く育っています。
- ・子どもたちが中学生になっても気軽に公民館に立ち寄り、公民館事業のボランティアを快く引き受けてくれるようになりました。

### 住民が気軽に立ち寄れる公民館を目指して

わしの子教室は、子どもたちの笑顔がどうしたら生まれるのか、どうしたら地域の方と楽しく交流ができるのかを考えながら、進めています。

私たち職員は、「住民が気軽に立ち寄れる公民館」を目指しています。だれもが世間話や相談などでいつでも来館できるよう、職員は仕事でもパソコンから離れて、お茶などを用意し、話の中に入ることを優先しています。そんなちょっとゆるい対応が、住民の皆さんと心がかよふ大事なひとときだと考えています。これからも、住民みんなで力を合わせて日置の地域を活性化していきたいと思えます。

#### まだまだあります！公民館事業

- 住民ごぞつの事業（運動会、納涼祭、仲間づくり展など）
- 高齢者を中心とした事業（館長杯グランドゴルフ、健康づくりカフェ、世代間交流など）
- 日置を語る会、料理教室、山菜を楽しむ会 など

### 鳥取市立日置地区公民館

鳥取市青谷町山根 218  
TEL (0857) 86-0836 FAX (0857) 86-0837